



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東
 コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 和田 瑞樹 TEL 03-6758-4738
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績（2019年10月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	856	-	164	-	154	-	104	-
2019年9月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 104百万円 (-%) 2019年9月期第1四半期 -1百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	29.75	25.93
2019年9月期第1四半期	-	-

(注) 当社は、2019年9月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第1四半期の数値及び2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	2,243	1,890	84.2
2019年9月期	2,212	1,738	78.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 1,890百万円 2019年9月期 1,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年9月期	-	-	-	-	-
2020年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	22.2	500	15.3	500	21.5	335	21.0	92.65

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	3,651,200株	2019年9月期	3,421,500株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	49株	2019年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	3,509,427株	2019年9月期1Q	－株

(注) 当社は、2019年9月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第1四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中間の貿易摩擦の激化による中国景気の減速や、英国のEU離脱問題による欧州景気の下振れリスク、消費税増税など、景気の先行きが以前にも増して懸念される状況で推移するものの、引き続き企業収益は底堅く、雇用・所得環境の改善が続き、堅調に推移しております。

当社グループが事業展開を行う2018年の国内インターネット広告市場は、前年比16.5%増の1兆7,589億円(注1)と推計され、引き続き10%を超える成長を維持しております。また、2018年の国内インフルエンサーマーケティング市場は、前年比25.1%増の219億円と推計され、同市場規模は、2019年に267億円、2028年に933億円(注2)と2018年比4.2倍程度に拡大していくことが予測されております。

このような環境の中、当社グループでは「NINARY」「Ripre」「ポチカム」「to buy」といったInstagramを始めとした各SNSプラットフォームにおけるインフルエンサーを企業マーケティングへ活用する「インフルエンサーサービス」、企業の保有するSNSアカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行う「SNSアカウント運用」、「インターネット広告代理販売」及びInstagramに特化した戦略子会社「株式会社glamfirst」の4つのサービスを展開し、企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援して参りました。

サービス別売上高については下記の通りとなります。

インフルエンサーサービスについては、主要顧客を中心にInstagramに対する需要の取り込みにより、売上高は392百万円となりました。

SNSアカウント運用については、月額単価の上昇及び企画やクリエイティブに係るオプションなどの増加により、売上高は105百万円となりました。

インターネット広告代理販売については、Instagramを始めとする運用型広告が大幅に伸長したものの、タイアップ広告等において前年度に発生した一過性の収益がなくなったことによる影響で、売上高は267百万円となりました。

株式会社glamfirstについては、一部の顧客が当社の運営するインフルエンサーサービスへとシフトした為、売上高は90百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高856百万円、営業利益164百万円、経常利益154百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益104百万円となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注1) 出典：株式会社電通「2018年 日本の広告費」

(注2) 出典：株式会社デジタルインファクト「インフルエンサーマーケティング市場規模2017年-2028年」

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が17百万円、受取手形及び売掛金が21百万円増加したことによるものであります。固定資産は122百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは、主に有形固定資産が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は353百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。これは主に未払金が45百万円、未払法人税等が61百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は353百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円増加いたしました。これは主に資本金23百万円、資本剰余金23百万円、利益剰余金104百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.2%（前連結会計年度末は78.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年11月13日の「2019年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,509,032	1,526,249
受取手形及び売掛金	484,156	505,486
電子記録債権	53,186	31,090
貯蔵品	1,146	1,330
その他	24,022	57,392
流動資産合計	2,071,545	2,121,549
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	56,423	56,423
減価償却累計額	△28,690	△39,020
建物附属設備(純額)	27,732	17,403
工具、器具及び備品	25,328	25,328
減価償却累計額	△7,354	△8,400
工具、器具及び備品(純額)	17,974	16,928
有形固定資産合計	45,706	34,331
無形固定資産		
ソフトウェア	13,450	14,666
ソフトウェア仮勘定	1,787	-
無形固定資産合計	15,237	14,666
投資その他の資産		
繰延税金資産	24,259	17,409
敷金及び保証金	54,419	54,854
その他	1,215	1,134
投資その他の資産合計	79,893	73,398
固定資産合計	140,837	122,396
資産合計	2,212,383	2,243,945
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,675	136,819
未払金	104,020	58,641
未払法人税等	108,451	46,621
その他	127,774	111,530
流動負債合計	473,922	353,612
負債合計	473,922	353,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,610	435,465
資本剰余金	411,610	435,465
利益剰余金	915,240	1,019,642
自己株式	-	△239
株主資本合計	1,738,460	1,890,333
純資産合計	1,738,460	1,890,333
負債純資産合計	2,212,383	2,243,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	856,116
売上原価	349,737
売上総利益	506,378
販売費及び一般管理費	341,733
営業利益	164,644
営業外収益	
雑収入	25
営業外収益合計	25
営業外費用	
減価償却費	10,005
その他	3
営業外費用合計	10,009
経常利益	154,660
税金等調整前四半期純利益	154,660
法人税、住民税及び事業税	43,408
法人税等調整額	6,849
法人税等合計	50,258
四半期純利益	104,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,402

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	104,402
四半期包括利益	104,402
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	104,402

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。